



強力速効!

Back to Nature Products AQUA-STRIP

"AQUA-STRIP" 強力ペイントリムーバー・アクア・ストリップ 取扱い説明書

この度はペイントリムーバー「アクアストリップ」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。取扱いには下記内容を十分ご理解の上行って下さい。

| | |
|-------------|---|
| 1.特徴 | <p>「アクアストリップ」は1回の塗布で10層ものマリンペイントや防汚剤、ニス類を素早く強力に落とすことが出来る安全で環境にやさしいペイント剥離剤です。</p> <p>ゲルコートやFRP等、様々な表面材にもダメージを与えず安心して使って頂けます。また、長時間湿り気を持った状態保つため、最下層のペイントまで容易に浸透し、一度に広いエリアの施工が可能です。</p> <p>塗布にはハケ、ヘラ、ローラー、スプレーが使え、粘性のあるペースト状のため垂直面への塗布も可能です。</p> <p>製品は生物分解素材で、非可燃性。しかも塩化メチレンや防腐剤などの劇薬系を含まない安全で環境にやさしいペイント剥離剤です。また、無臭性で水で簡単に洗い流すことも出来ます。</p> |
|-------------|---|

| | |
|------------------|---|
| 2.除去可能な塗料 | <p>船底塗料、防汚剤、ポリウレタン、エナメル、チークオイル、ノンスキッドデッキ、ゴム製品等、ほとんどのマリンペイントやニス類を落とすことが出来ます。また、ウレタンのような難しい塗料も落とすことが可能です。</p> |
|------------------|---|

| | |
|------------------|--|
| 3.塗布面について | <p>「アクアストリップ」はFRPや木部、アルミ面等、多くの表面に塗布が可能です。木部に塗布しても、変色させたり、表面を荒らすことはありません。腐食剤を含んでいないため、アルミに穴を開けてしまう心配もなく、あらゆる金属にダメージを与えません。この他、石膏、石造物、大理石、レンガにも塗布可能です。(石膏ボード、プラスチック、ゴム、リノリュームには使用しないで下さい。)</p> |
|------------------|--|

| | |
|------------|--|
| ※重要 | <p>※ゲルコートの種類と劣化程度は多種多様のため、現状のゲルコートに使用可能かどうかを必ず小面積でテストをし、適応性や必要な待機時間を計って下さい。テストをせずに生じた不具合や費用に関しては一切責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。</p> |
|------------|--|

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|-----------|-----------------------------|--------------|----------------------------------|-------------|--|-------------|---|-------------|--|-------------|--|
| 4.施工手順 | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="207 1075 316 1115">準備</td> <td data-bbox="316 1075 1436 1115">必要エリア以外をマスキングテープ等でマスキングします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="207 1115 316 1155">1.テスト</td> <td data-bbox="316 1115 1436 1155">必ず小さな面積でテストし、適応性や必要な待機時間を計って下さい。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="207 1155 316 1406">2.塗布</td> <td data-bbox="316 1155 1436 1406"> <p>塗り厚0.8mmを目安に、ハケ、ヘラ、ペイントローラー、パテ用コテ、スプレー等で塗布します。(コテパケが一番均一に素早く塗れるためおすすめします。)その際、普通のペイントの様に薄く塗り伸ばさないで下さい。</p> <p>1ガロン(約3.8kg)当り、約50~75sq/feet(約4.6平方メートル)の面積に塗布可能です。気温16~26度で最大の効果が得られます。</p> <p>万一製品が凍結した場合は、解凍して均等によくかき混ぜてから使用して下さい。</p> <p>スプレーヤーを使うとさらに効率的な作業が可能です。その場合、スプレーの前によくかき混ぜ、フィルターをはずして塗布して下さい。(1GPMピストンのスプレーヤーで0.019~0.021のスプレーチップを使用します。)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="207 1406 316 1527">3.待機</td> <td data-bbox="316 1406 1436 1527"> <p>塗布後、約30分~4時間放置し、その後は定期的に状態をチェックして下さい。ペイントの層が厚ければ、それだけ長くおく必要があります。また、気温16度以下ではより長い待機時間が必要です。製品は24時間以上湿り気のある状態を保つことが出来ます。(2液性ウレタンのような塗料の場合、その性質上より長く時間をおくと効果的です。)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="207 1527 316 1671">4.除去</td> <td data-bbox="316 1527 1436 1671"> <p>塗料が柔らかくなったら、スクレーパー等で広い面積を剥がし、硬い毛のブラシ等で細部を剥がします。別売「レディストリップ ウォッシュ」を合わせてお使いになるとさらに手際よく作業が出来ます。また、乾いたと思ったら湿らすことにより製品を再度活性化することが出来ます。頑固な塗膜にはもう一度「アクアストリップ」を塗布し、再施行して下さい。除去後、表面に残ったカスは速やかに取り除き水洗いして下さい。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="207 1671 316 1778">5.注意</td> <td data-bbox="316 1671 1436 1778"> <p>船底塗料を落とす際、エポキシのバリアコートは残したい場合、「アクアストリップ」がエポキシバリアコートに浸透する前に、船底塗料と「アクアストリップ」を洗い流して下さい。その場合、必ず小面積でテストをして、正確な待機時間と剥がすタイミングを計ってから施行して下さい。</p> </td> </tr> </table> | 準備 | 必要エリア以外をマスキングテープ等でマスキングします。 | 1.テスト | 必ず小さな面積でテストし、適応性や必要な待機時間を計って下さい。 | 2.塗布 | <p>塗り厚0.8mmを目安に、ハケ、ヘラ、ペイントローラー、パテ用コテ、スプレー等で塗布します。(コテパケが一番均一に素早く塗れるためおすすめします。)その際、普通のペイントの様に薄く塗り伸ばさないで下さい。</p> <p>1ガロン(約3.8kg)当り、約50~75sq/feet(約4.6平方メートル)の面積に塗布可能です。気温16~26度で最大の効果が得られます。</p> <p>万一製品が凍結した場合は、解凍して均等によくかき混ぜてから使用して下さい。</p> <p>スプレーヤーを使うとさらに効率的な作業が可能です。その場合、スプレーの前によくかき混ぜ、フィルターをはずして塗布して下さい。(1GPMピストンのスプレーヤーで0.019~0.021のスプレーチップを使用します。)</p> | 3.待機 | <p>塗布後、約30分~4時間放置し、その後は定期的に状態をチェックして下さい。ペイントの層が厚ければ、それだけ長くおく必要があります。また、気温16度以下ではより長い待機時間が必要です。製品は24時間以上湿り気のある状態を保つことが出来ます。(2液性ウレタンのような塗料の場合、その性質上より長く時間をおくと効果的です。)</p> | 4.除去 | <p>塗料が柔らかくなったら、スクレーパー等で広い面積を剥がし、硬い毛のブラシ等で細部を剥がします。別売「レディストリップ ウォッシュ」を合わせてお使いになるとさらに手際よく作業が出来ます。また、乾いたと思ったら湿らすことにより製品を再度活性化することが出来ます。頑固な塗膜にはもう一度「アクアストリップ」を塗布し、再施行して下さい。除去後、表面に残ったカスは速やかに取り除き水洗いして下さい。</p> | 5.注意 | <p>船底塗料を落とす際、エポキシのバリアコートは残したい場合、「アクアストリップ」がエポキシバリアコートに浸透する前に、船底塗料と「アクアストリップ」を洗い流して下さい。その場合、必ず小面積でテストをして、正確な待機時間と剥がすタイミングを計ってから施行して下さい。</p> |
| 準備 | 必要エリア以外をマスキングテープ等でマスキングします。 | | | | | | | | | | | | |
| 1.テスト | 必ず小さな面積でテストし、適応性や必要な待機時間を計って下さい。 | | | | | | | | | | | | |
| 2.塗布 | <p>塗り厚0.8mmを目安に、ハケ、ヘラ、ペイントローラー、パテ用コテ、スプレー等で塗布します。(コテパケが一番均一に素早く塗れるためおすすめします。)その際、普通のペイントの様に薄く塗り伸ばさないで下さい。</p> <p>1ガロン(約3.8kg)当り、約50~75sq/feet(約4.6平方メートル)の面積に塗布可能です。気温16~26度で最大の効果が得られます。</p> <p>万一製品が凍結した場合は、解凍して均等によくかき混ぜてから使用して下さい。</p> <p>スプレーヤーを使うとさらに効率的な作業が可能です。その場合、スプレーの前によくかき混ぜ、フィルターをはずして塗布して下さい。(1GPMピストンのスプレーヤーで0.019~0.021のスプレーチップを使用します。)</p> | | | | | | | | | | | | |
| 3.待機 | <p>塗布後、約30分~4時間放置し、その後は定期的に状態をチェックして下さい。ペイントの層が厚ければ、それだけ長くおく必要があります。また、気温16度以下ではより長い待機時間が必要です。製品は24時間以上湿り気のある状態を保つことが出来ます。(2液性ウレタンのような塗料の場合、その性質上より長く時間をおくと効果的です。)</p> | | | | | | | | | | | | |
| 4.除去 | <p>塗料が柔らかくなったら、スクレーパー等で広い面積を剥がし、硬い毛のブラシ等で細部を剥がします。別売「レディストリップ ウォッシュ」を合わせてお使いになるとさらに手際よく作業が出来ます。また、乾いたと思ったら湿らすことにより製品を再度活性化することが出来ます。頑固な塗膜にはもう一度「アクアストリップ」を塗布し、再施行して下さい。除去後、表面に残ったカスは速やかに取り除き水洗いして下さい。</p> | | | | | | | | | | | | |
| 5.注意 | <p>船底塗料を落とす際、エポキシのバリアコートは残したい場合、「アクアストリップ」がエポキシバリアコートに浸透する前に、船底塗料と「アクアストリップ」を洗い流して下さい。その場合、必ず小面積でテストをして、正確な待機時間と剥がすタイミングを計ってから施行して下さい。</p> | | | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------------|---|
| 5.安全のために | <p>※作業は目や肌の保護のため、ゴム手袋や安全メガネをつけて行って下さい。(ブチルゴムやネオプレンゴム製の手袋をお薦めします。)また、狭い空間での作業には十分な換気を維持して下さい。目に入った場合はすぐに大量の水で洗って下さい。肌についた場合は水や石鹸水で洗い流し、皮膚軟化剤クリームを塗って下さい。誤って飲み込んだ場合は速やかに医師に相談して下さい。</p> |
|-----------------|---|